

※正答率

	国語	数学	英語	3教科合計
勝田中	74.0	52.0	44.0	170.0
美作市	66.0	42.0	37.0	145.0
岡山県	70.0	51.0	44.0	165.0
全国	69.8	51.0	45.6	166.4

※結果分析(○できている ●できていない)

(学力調査)

【国語】

- 無回答率が低く、最後まであきらめずに取り組む姿勢が見られる。
- 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解できている。
- 聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめて書くことができている。
- 読み手の立場にたって、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができている。
- 古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができている。
- 観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることが不十分である。
- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことが不十分である。

【数学】

- 無回答率が低く、最後まであきらめずに取り組む姿勢が見られる。
- 文字式の乗法の計算ができている。 ○ある数を指示によって計算した答えを求めることができている。
- 四分位範囲が理解できている。 ○どんな関係が直線のグラフになるか理解できている。
- 反比例の関係において、xの値とyの値と比例定数の関係についての理解が不十分である。
- 度数分布表から、累積度数の理解が不十分である。
- 結論が成り立つための前提を、過程や結果を振り返り、成り立つ事柄を見つめだし説明することが不十分である。
→ 知識が定着していたら容易に答えられる基本的な知識の解答が不十分である。(常時活用しない基本的な知識を忘れている。)
数学的思考力を必要とする課題が苦手である。

【英語】

- 無回答率が低く、最後まであきらめずに取り組む姿勢が見られる。
- ある状況を描写する英語を聞き、情報を正確に聞き取ることができている。【聞くこと】
- 日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができている。【聞くこと】
- ある状況を描写する英文を読んで、情報を正確に読み取り、その内容を最も適切に表しているグラフを選択することができている。【読むこと】
- 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させることが不十分である。【書くこと】
- 日常的な話題について、事実な自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことが不十分である。【書くこと】
- 日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることが不十分である。【読むこと】
→英語で書かれたパンフレットや取扱説明書等、複数の情報が含まれる文章をもとに、目的に応じて必要な情報を整理しながら読み取る練習が必要である。

(学習状況調査)

- 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」の肯定率が高く、「学級の生徒との間で、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と感じている生徒が多い。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒は、全国平均を上回っている。
- Chromebookを授業で多く活用することができている。(情報検索・意見交換・発表)
- 平日の家庭学習の時間が全国平均よりも少ない。
- 自分の考えをわかりやすく伝えることに苦しさを感じている生徒が全国平均よりも多い。

<学校としての対応・目標>

国語・数学は全国平均を上回っているが、英語は全国平均を下回っている。各教科の学力・学習状況調査で見た課題に取り組む、学習事項の定着に向け、一層、努力します。

①授業に力を入れます。→本校のアクションプランや、「かつたっ子授業のスタンダード」をベースにした授業づくり

- ・授業の中で復習(小テスト、暗記、重要事項の確認)の時間を設けます。
また、めあて・まとめ・振り返りの定着を図ります。(文章でまとめる習慣をつけさせます。)
- ・Chromebook・ICT機器、デジタル教科書などの視覚的な教材を使ったわかりやすい授業を工夫します。
- ・じっくり考える場面、活動する場面、発表する場面、まとめ、ふりかえりの場面を設定します。
(個→ペア・グループ→全体→個)

- ・考えを深めたり広げたりするための問い返しや聞き方を工夫した授業を行います。
- ・スモールステップとして、学んだことの定着のために定期的小テスト・単元テストを行います。
- ・10月下旬から火・木の放課後に、5教科の補充学習に取り組みます。

②学習習慣をつけられるようにします。

- ・毎日の課題(デイリーワーク)と週末課題(ウィークリーワーク)によって、一定量の学習時間を確保して、毎日復習をし、必ず提出する習慣をつけさせます。
- ・自分で家庭学習の計画を立てて内容を考え、学習を習慣化できる力(セルフコントロール力)をつけさせます。
- ・予習的課題に取り組み、家庭学習と授業とのつながりを大切にします。

③自己有用感を持てるような活動や取組を工夫します。

- ・日常生活で規範意識を大切にして、継続して取り組んだ努力が自分を高めることを実感させます。

<保護者の皆様へのごお願い>

2学期になり、受験に向けて力をつけなければならない時期となりました。上記のように授業や放課後の時間などで学力補充をします。テストの結果と課題の提出状況、全国学力・学習状況調査、i-checkについて、テスト後や三者懇談でテスト連絡ファイルでご家庭にお知らせしています。今一度、家庭学習の状況をご確認ください。そして、決まった時間に勉強するなど家庭学習の習慣が身につくよう、励ましの声をかけてくださると子どもたちもがんばれると思います。また、生徒会では学習時間調査とメディアチェック(テレビ、ゲーム、スマホの使用)について取り組んでいます。メディア使用にあたっては、家庭でルールを決めていただき、お子様とのコミュニケーションを大切にしていだくようお願いします。また、将来を見通したよりよい進路選択となりますよう、しっかり話をしてください。お子様の夢を実現することができるよう、学校と家庭とが協力して支援をしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。